

第1次宗像市スポーツ振興計画 進捗状況

平成25年5月末現在

施策・方針	事業	進捗率 (%)	左記の具体的な内容 取り組んでいること	取り組めていないこと
総合型スポーツクラブの調査研究及び育成	総合型スポーツクラブの調査研究	100	<ul style="list-style-type: none"> ●平成21年度から南郷地区コミュニティをモデル地区に総合型地域スポーツクラブの準備委員会を設立し、調査研究を進め、総合型地域スポーツクラブの設立目的や趣旨について協議を行った。 ●平成24年7月に南郷地区コミュニティをモデル地区に総合型地域スポーツクラブ「南の郷クラブ」を設立。現在、会員を募集し、プレ事業としてバウンドテニスやバドミントンを始め12の教室を開始している。本格始動は、平成26年4月からとなる。 	
	新たな総合型スポーツクラブの育成	0		◆新たな総合型スポーツクラブの設立に向けた取り組みは行っていないが、今後、「南の郷クラブ」の運営状況をみて他地区への検討を行う。
スポーツ資産の有効活用	「市民スポーツ振興協議会（仮称）」の設立及び資源の有効活用	50	<ul style="list-style-type: none"> ●グローバルアリーナ、サニックススポーツ振興財団、福岡サニックスブルースと協議会を設立し、サニックススポーツ振興財団による小学校（市内全校）のタグラグビー授業やサニックスブルース選手による玄海ジュニアラグビークラブへのラグビークリニックを行っている。また、3者に宗像市を加えたところで、毎月1回、定例会を開催し、連携を図っている。 ●グローバルアリーナをはじめとする民間施設の利活用や近隣市との施設の有効活用の協議を進めている。 	市民スポーツ振興協議会設立し、左記の活動を行っているが、さらに構成団体を増やしたところで、スポーツ資源の有効活用を検討する必要がある。
企業スポーツ連携活用事業の展開	ラグビー・サニックスブルース、JR九州サンダースとの連携	100	<ul style="list-style-type: none"> ●福岡サニックスブルース、JR九州サンダースとは連携を行い、毎年、市民との交流を目的としたサンセットフェスタを開催。また、地域のコミュニティとも連携し、選手とファンが直接触れ合うことができるイベントを開催している。 ●サンセットフェスタにおいて、高校生を対象としたラグビークリニックを実施している。 ●トップリーグの試合開催に際しては、観戦用のシャトルバスの運行や市職員の派遣を行っている。 	
	市民スポーツボランティア育成	100	<ul style="list-style-type: none"> ●実業団女子駅伝西日本大会では、市民ボランティアの募集を行い、活動機会を提供している。 ●むなかたキッズセブンラグビー大会では、玄海ジュニアラグビークラブの保護者に大会運営ボランティアをお願いしている。 ●ビーチラグビー、マリンフェスタ、O P ヨット大会といった海洋性スポーツでは、ボランティアが運営に参画している。 	
	トップスポーツ試合の地元観戦機会の提供	100	<ul style="list-style-type: none"> ●地元グローバルアリーナで開催されるラグビートップリーグでは、宗像市を本拠地とする福岡サニックスブルースの試合を市内の小中学生及び保護者やコミュニティ運営協議会に案内し、招待することでラグビートップアスリートのプレーを観戦する機会をつくっている。 ●実業団女子駅伝西日本大会では、実業団の女子トップランナーの走りを見るができる機会をつくっている。 	
	その他の企業スポーツ連携	80	<ul style="list-style-type: none"> ●福岡ソフトバンクホークスと連携協定を締結し、ヤフードームへの野球観戦の無料招待や割引チケットの斡旋を行っている。 ●市陸上競技協会、トヨタ自動車九州陸上競技部と連携し、福岡教育大学の公認マルチグラウンドを利用し、中長距離記録会を開催している。 ●グローバルアリーナでは、むなかたキッズセブン（小学3・4年生のラグビー大会）を九州エリアを対象として開催し、併せてトップリーグの観戦招待を行っている。 	◆市民スポーツ振興協議会を活用した、さらなる企業スポーツの連携のあり方について整理する必要がある。

第1次宗像市スポーツ振興計画 進捗状況

平成25年5月末現在

施策・方針	事業	進捗率 (%)	左記の具体的な内容	
			取り組んでいること	取り組めていないこと
地域スポーツ・健康づくり活動の推進	地域スポーツ・健康づくり活動の推進	100	<ul style="list-style-type: none"> ●体育協会を中心に、各種スポーツ大会、教室、講習会を開催し、指導者養成やスポーツ人口の底辺拡大を進めるとともに、高齢者向けの健康教室など新規事業にも取り組んでいる。 (平成24年度実績：スポーツ大会 184回、講習会 97回) ●全国大会出場の参加費用補助制度を新たに創設し、スポーツ活動の支援を行っている。 ●市スポーツ推進委員を中心、地域コミュニティや福祉会、自治会、PTAを対象にニュースポーツや玄米ニギニギ体操の普及、推進、指導者育成を行っている。 ●コミュニティ対抗のグラウンドゴルフ大会、お手玉大会の運営支援を行っている。 ●マリンフェスタ、OPヨット大会、親子ヨット教室などを開催し、本市の特性である海やビーチを利用した海洋性スポーツの普及調査研究事業を行っている。また、平成26年度の完成を目指し、福津市と共同で海洋性スポーツの拠点施設となる船庫の整備を進めている。 	
	日本レクリエーション協会公認指導者養成講座の開催	100	<ul style="list-style-type: none"> ●平成24年9月から市民サービス協働化提案制度を活用し、市レクリエーション協会と協働委託によりレクリエーション養成講座を開始。平成25年度末で日本レクリエーションインストラクターの資格取得要件を満たすことになる。 (平成24年度受講者：約50人、平成25年度受講者：約40人) 	
児童生徒の健康・体力向上	小中学校体力向上支援事業	100	<ul style="list-style-type: none"> ●市スポーツ推進委員が体力テスト判定員の資格を取得させ、市内小学校の体力テスト派遣要請に応じて、委員の派遣制度を整えている。 (平成24年度実績：4校、延べ1,881人) 	
	体力・運動能力の優良校表彰制度	0		◆未実施
	健康・体力・運動能力向上支援プログラム事業	60	<ul style="list-style-type: none"> ●市内小学校（全校）にサニックススポーツ振興財団によるタグラグビーの訪問授業を行っている。 ●平成24年度は、中学校の部活動における地域指導者として36人が登録し、市内中学校（全校）で野球、サッカー、柔道などのスポーツ指導を行っている。 	<p>◆現在は、サニックススポーツ振興財団によるタグラグビーの訪問授業しか行っていないが、今後市民スポーツ振興協議会の機能を強化したところで、事業の拡大を検討する必要がある。</p>
	トップアスリート交流事業	100	<ul style="list-style-type: none"> ●福岡サニックスブルース選手による玄海ジュニアラグビークラブへのラグビークリニックを行っている。 ●福岡サニックスブルース、JR九州サンダースとサンセットフェスタを開催し、選手と市民の交流を行っている。 ●福岡サニックスブルースが出場するトップリーグの試合観戦に市内小学校（全校）を招待した。 ●実業団女子駅伝西日本大会プレイベントで著名な講師を招き、ラン&ウォーク講習会を開催している。 	

第1次宗像市スポーツ振興計画 進捗状況

平成25年5月末現在

施策・方針	事業	進捗率 (%)	左記の具体的な内容	
			取り組んでいること	取り組めていないこと
施設整備と有効活用	体育館保全改修事業	65	●市内体育館の耐震保全改修計画に基づき、市民体育館、勤労者体育センターの耐震補強、保全改修工事が平成24年度までに完了。	◆玄海B&C海洋センターは、平成25年度に耐震補強、保全改修工事を実施する。 ◆市民体育館は外壁の改修工事が未実施である。
	スポーツ施設運営改善事業	50	●市民体育館やB&C海洋センターの運営の指定管理である市体育協会と連携し、利用者の利便性向上のため予約受付方法などの改善を行った。	◆ふれあいの森、中央公園、明天寺公園などの市内有料公園については、維持管理課が管理しているが、利用者の利便性や効率化を図るために、文化・スポーツ推進課によるスポーツ施設の一元管理の導入を検討する。 ◆インターネットによるスポーツ施設の利用予約の導入を検討する。
	グラウンド芝生化調査研究事業	20	●鳥取方式の芝生化の有効性を計るため、くるみ幼稚園や野ばら保育園の園庭に試験的に芝生を敷設し、経過を観察した。	◆市内小中学校等のグラウンドの芝生化の導入について、左記の結果を踏まえて、引き続き調査研究を行う。
	市所有遊休地等の有効活用調査・研究事業	100	●田熊石畑遺跡の史跡整備に伴い、スポーツ施設としてのグラウンド利用の検討を行ったが、法律面や史跡保存から活用することができなかった。 ●グローバルアリーナをはじめとする民間施設の利活用や近隣市との施設の有効活用の協議を進めている。 ●明天寺球場の硬式利用（少年）について検討している。	